明治廿六年十月五日印刷
明治廿六年十月六日發行

婦人衛生雜誌

第四拾七號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雑誌
第四拾七號
目次

講演

◉室内の空氣に付て　醫學博士　緒方正規君

寄書

◉婦人須知（前号の續）
○乳母の撰ひ方○乳母に要する注意○乳母の營養法○哺乳時間　醫學士　賀古鶴所君

◉浴場行日誌（前號の續）　醫學博士　佐々木政吉君

衛生叢談

◉鰻の骨と肺病◉喫烟學生と非喫學生の身体◉虎列刺病毒に關する大發明◉バクテリヤの導体◉人命の長短◉長命なる老嫗◉接吻の危險◉一生涯の消費◉宮崎縣と山梨縣のチストマ◉印度の發狂者◉愛蘭土の狂人◉九十余名の中毒◉絶食者◉奇兒◉各地赤痢病の猖獗◉よい醫者の迷惑◉津市の景況◉赤痢賣◉壹岐の赤痢◉赤痢患者の變死◉赤痢の心得◉諸會景況◉東京市内小兒科醫の栞◉窒扶私◉廣告數件

大日本婦人衛生雑誌
第四拾六號
目次

講演

◉乳兒の育て方　醫學士　伊東祐彦君

寄書

◉婦人須知（前號の續）
○健康なる産婦の心得○嬰兒の接乳○乳房に於ける注意　醫學士　賀古鶴所君

◉浴場行日誌（前號の續）　醫學博士　佐々木政吉君

衛生叢談

◉斷食試驗の結了
◉喫氷に關する獨逸政府の諭達
◉溺死者救濟新法
◉安足袋の危險
◉北里博士の肺患識別劑
◉喫煙の新法
◉人の死する原因
◉精神病と不毛の關係
◉婦人の髪
◉虎列刺病の植付
◉蛋白と淡白
◉産婆試驗
◉義眼村
◉雜報一束
◉東京市内小兒科醫の栞
◉廣告數件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第四拾七號
（明治二十六年十月六日發行）

講演

室内の空氣に附て

（明治廿六年七月一日 富士見倶樂部に於て）

醫學博士　緒方正規君演説

私の今日御話致しまするのは、室内の空氣に就ての御話で御座います人は貴賤の差別なく家屋の内に居りますことが最も多いので、其生活時間中の多分は、家屋の内即ち室内に於りて家屋の外に居りますことは僅かの一部分に過ぎません、家屋の目的と云ふのは、其家屋に依て風雨を防ぎ、寒暑をも家屋の爲めに凌いで居ります。其家屋があつて始めて寒暑も防ぎ風雨も防ぐことが出來て、健康を保つ事が出來ます。其家屋は室外の空氣と室内の空氣が常に交通を致して居りませんければなりませぬ。其外氣が室内に這入らないときは害があります。衣服に致しても同じことでありまして、空氣の能く通じまする即はち空氣の通りの宜しい衣服は、身體を温かに保ちまする。又空氣か通過致しませぬ衣服は實に着用致して居るのに堪えません困難が有ります。例へば空氣の通過致しませんのは雨衣の如き、桐油の如きは空氣が通りませんから、斯様な衣服を着用して居ると必ず健康を害します。ソレと同じ事に家屋も能く空氣が通じなければなりません。衣服に致しても殊に洋服で御座いますと、帽子で御座いますが、帽子は家に譬ふれば家根と同じことで御座います。家の一番上の部分を占めて居ります。衣服は丁度家に譬ふれば壁と同じことで——壁と同じ働きを有つて居ります、又衣服と住家との中間に位して居るものが有りますが、即ちテント（天幕）の如きは、一は衣服

を造ります物質で出來、一は家屋を造ります物質で拵へて有ります。而して家屋を建てまするのに用ひます物質、或は材料と申しますが、其材料を能く空氣が通りませんければありませぬ。空氣も通り水も能く通らなければなりません。衣服に於て能く空氣が通ると云ふ事柄は、皆様も御承知であらせられると思ひますが、即ち巾を口に當てゝ僅かばかり吹きますれば空氣が外に拔けます。部屋にて窓を締め或は障子或は戸を閉めましたる時に、內外の空氣は常に相通じて居ります。一方は室外の空氣が室內に入り、室內の空氣は室外に出でるものであります。併し空氣が室內に這入るのは、眼で視へませんから我々の感覺には分りませぬ、と云ふものは極く空氣の這入ります速力が遲い且ッ其分量が少ないために空氣が這入るか這入らぬかと云ふ事は分りませぬ。其譯は空氣の運動の速力が一秒時間に一尺五寸即ち半メートルでありますれば、我々に感じませぬ。少しでも我々に風があるとか、空氣に運動があると感じ得らるゝ時は、其速力は既に一秒時間に三尺以上の速力で運動致して居りますので、三尺以上の速力ならば我々に感じます。此家屋の壁を通して空氣が這入ります事は、外の事でも推して知る事が出來ます。若し壁の一方に雨がかゝり、濡れますと一方に染みまして參ります、水が浸みて一方から通つて參りますから、其水が通るだけに壁に少さき穴があるのであります。其水の通ります處であれば空氣も通過致します。加之又空氣は水よりも輕き事七百七十倍、空氣の方がソレだけ輕い。又運動致すに容易き事も七百七十倍程水より容易く運動するものであります。日常人の用ひまする道具を拵へまするにも、水の洩れない樣に器を造るのは容易い、縱令ば桶なり何なり如何なる器械でも、水の通らない樣

に器械師が之を造るのは容易いが、空氣が通過しませぬ様に拵へるのは餘程器械師も骨が折れます。器械師が申して居ります言葉に空氣は、極く少さき頭を以て居る故にや、極く僅かな透があれば空氣は其少さき頭を以て逃げ出すのであると云ふて居る位で御座います。故に空氣の通過しない様に致しますには、器械師も餘程困難で有ります。併し此家屋の壁から空氣が通過すると云ふことは我々の眼で見る事は出來ませぬ。或は之を聞く事は出來ませぬ。我々は風の運動を見る事は出來ませぬ。ソレで疑を生ずる事があります。即ち五感に於て我々は是を感じませぬから、空氣の通過すると云ふ事は能く合點しにくいものであります。

家屋を建築致しますには御承知の通り木材石並びに日本では竹も用ひますが、瓦或は煉瓦等であります。ソレで煉瓦の家にても日本の通常の家にしても戸を閉め障子を閉めても、必ず室内の空氣と外氣とは交通して代謝ッて居ります、其空氣の通過致しますのを又容易く見まする方法が御座います。

爰に持參致しましたのは、是は檜で御座いますが、此檜の長さが五寸ばかり、圓柱形のものであります横幅は三寸五分ばかりの檜の丸太で御座います。サウして一方に漏斗を附けまして、又他の一方にも漏斗を附けまして、ソレから其廻りの所に蠟を塗りて外に空氣が出て往かない様にしてあります。斯の如く致して一方から少し息を吹込ますと、是丈け長さの木を通して空氣が通過致すのであります。此方に蠟燭を燈て一方の護謨管の口から吹て見ますると、蠟燭の焔が風の爲めに斜めになりますのが分ります護謨の管から漏斗に空氣を集めて、其空氣は木材を通して、又漏斗に空氣を集め、護謨を通して硝子の先きに管を附けてあります。廣くては分りませぬ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が、其面積か狹ければ空氣の通過が分ります今吹いて御覽に入れます。（此時講師實驗して其例を示さる）斯の如く焰が餘程風の爲めに曲ります。加之管の一方を水に入れて置き、他方の管より之を吹て御覽に入れます、氣泡が出まするから。能く分ります（此時講師實驗して其例を示さる）斯の如くに空氣の玉が出ます。斯く太き木材にしても空氣が通過する如く煉瓦石に致しても其通りで御座いまして、玆に一の煉瓦石があります、其兩側に斯の如く漏斗を附けまして、周圍には前の通り蠟が塗つて有ます。サウして一方から吹きますと空氣は此煉瓦石を通して先きに出てます。又一方の管を水に入れて吹て御覽に入れます。（此時講師實驗して其例を示めさる）斯の如く氣泡が見へます。又日本の家屋の壁で御座いますが、是は三寸程の厚さの壁を取り其兩面に漏斗を附着し其周圍に蠟を塗りてありまするが一方より空氣の吹き込みますれば空氣の通りは前の木材幷に煉瓦石と比すれば餘程多量であります。（此時講師實驗して其例を示さる）斯の通りであります。此位に通過が宜い、蠟燭ならは直ちに消える位であります、又日本では窓に硝子を用ひずして紙を用ひます即ち障子で御座いますが、障子は壁抔に比較しますると、餘程空氣の通りの宜しきもので、僅か吹けば空氣が通ります。是も矢張紙を中に張て、兩方に漏斗が附て居るのでありますが、少しも紙があると云ふ感じを覺へぬ位に空氣か自在に通過致します（此時講師實驗して其例を示さる）斯の如くに建築を致しまする材料は、皆空氣が通過致すので有ります。又空氣が通過致しませんければならぬので有ます。其外又石にしても煉瓦石の如く拵へても皆空氣は通過致すので有ります。併しながら若し其建築材料が水で濡れますか、或は雨の爲めに或は洪水の爲めに

室壁が濡れてきました時は、空氣の通過は餘程惡くなります。或は全く空氣の通過は止ります。故に唯今の煉瓦石でも一二滴の水を以て之を濕して、其後拭きますると、殆ど空氣は通過致さなくなります。家屋の建築には多量の水を要します。多量の水を要しますのは漆喰で壁を塗るとか、又煉瓦の間にセメントを入れて堅めまするにも多量の水を要します。然るに其壁が乾きませぬ内に其家屋に住居すれば、種々の病氣を發します。歐羅巴に於ては家を建てから一定の時間——一定の日月を經なければ其家屋に引移る事が出來ない規則になつて居ります。併し我日本ではまだ其規則も出來て居りませぬが、煉瓦石の家に於きましても或は日本の家にても壁を塗る時に多量の水を用ひます。即ち漆喰、壁土、家根裏に用ゆる濕りたる土等であります

建築に用ゆる水の分量と云ふものは餘程多量のものであります。西洋造りの一戸の家に就て其水の分量を計算した人があります。一ッの家即ち煉瓦の家で、三階で其三階に各々五つゝづゝの部屋があるとすれば、其煉瓦の間に用ひます漆喰の爲めに水を要しまする分量、幷びに室内の壁を塗りますのに用ひます分量は一軒の家に就て四十二石丈の水を要すると。四十二石と云へば餘程の分量であります。リイテルに致して申せば此に持參しました壜一杯が一リイテルでありますから、之に八千五百倍程の水が住居に必要なのであります。是だけの水が無くては人が住う樣な家にはならぬのであります。併し此水が悉く乾かなければ住居して害あり種々の病氣に罹るに至ります。其壁の乾きませぬ家屋の害と云ふのは重に三通りにて、室內の空氣と室外の空氣と交通するのが止り或は其交通が減ずる事。第二には壁が濕りて居れば我々の體溫を失ふ事多く我々の體溫を其壁

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に多量に與へて從て感冒の病氣が起ります。第三には室壁が濕りて居れば、室内の空氣も濕氣に富み水分が多いから、病毒も發育增加致します御承知の通り梅雨になりまして、毎日雨が降り、隨て空氣の濕氣の多い時になれば、衣服にも其外のものにも皆黴が生へるは、濕氣多くして温度が高い爲めに衣服其他の食物に速かに黴が生ずるので有ります。ソレと同じ事に病毒も濕氣が多ければ從て殖えるので有ります。家屋の壁の濡れて居るのゝ濡れた衣服を着て居るのと違ひは有りませぬ。其家に住居い其衣服を着れば必ず感冒に罹る。或は氣管支加答兒杯に罹る。或は腎臓病と云ふて癒りにくい病に罹ることが多い。其濕氣の多い家には病人多く從て常に醫者が出入すると云ふ事柄が歐羅巴に於て統計の上に分つて居ります。其多量の水で濡れましたり、或は壁が乾きませぬのは、元より火を以て暖め乾かす譯には參りませぬから、自然の蒸發に任せおければなりませぬ、自然の蒸發と云へば即ち空氣が水分を取つて、其濕氣の消失するのであります。其空氣に濕氣を取らせるので有ります。又空氣の濕氣を取りますのは、空氣の温度幷に已に空氣中に含有して居りまする水蒸氣の分量に關係致します。攝氏の十度の温度の空氣で有りて其内に含有せる水分所謂比濕七十五度にして猶充分含有し得る分量の水分を取るとするも其家を全く乾かすに必用なる空氣の分量は、一億三千六百万立方メートルであります一立方メートルは三尺立方で有りますから、ソレだけ多量の空氣が無ければ其家は乾きませぬ。

是より少し空氣の交換即ち外氣と室内の空氣の替ります事に就て、衞生上に必要のお話を致します。人并びに動物は、室内に住居して居りますると、其空氣は追々不潔になつて參ります。其不潔になつて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

參りますのは、新鮮の空氣を以て交代致さなければなりませぬ。新鮮の空氣が這入て不潔の空氣が室外に出なければ害が御座います。而して其室内の空氣が室外に出ざる時の害ある事柄は以前に於て航海を致しますに、航海者には餘程死亡が多かりしは暴風杯の爲めに船の窓を閉ち締め其内に於て不潔の空氣發生する爲め中毒に罹つて倒れるものが澤山御座いました。又今を去ります事四十年前に、印度のカルカッタをナボーブ人から取られた事があります。其時百四十六人なる英吉利人を十八尺平方の部屋に閉込て置きましたるに翌日に至り其中に漸く二十八人生き殘り後の百二十人ばかり各人の呼出せる有害の瓦斯の爲めに死にました其外アウステルニチと云ふ處に戰爭ありし時も墺地利人を二百六十餘名を狹い室に入れて置きしに翌日に至り二百有餘名なる多數のものは其内で倒れて居つたと云ふ事が有ります。

即ち人並びに動物の呼出する空氣には餘程有害の瓦斯が有りまして、其有害のものゝ中に瓦斯の含有せるは人の常に多量の炭酸を呼出し其炭酸並びに水蒸氣、其外有害な瓦斯を始終呼出致しますので、其室内の空氣は變敗致します、即ち惡くなつて參ります然れども外氣は、地球上何處に於ても其成分は化學的に調べて見るも違ひは御座いませぬ。或は火山が破裂し其場所に有害の瓦斯を噴出すことがあり、或は工業の盛んなる都府杯には數千の煙突から有害なる瓦斯が空氣中に混合せるも其空氣を調べて見ると格別變化は認むることは出來ませぬ。と申すは始終多量の空氣がありますから有毒のものも混ざつて薄くありて、其不潔になつたと云ふことは外氣では認むることは出來ませぬ。ソレに反して室内の空氣に於ては僅かの間人が居りましても、多少不潔になり。其不潔のことを十分證明致すことが出來まする。又

室内の空氣に付て

一室内に多人數集つて居りまする所に、空氣が能く通ひませぬ處に永く居れは其人は色が追々青くなり呼吸器并に消化器の病氣が起り易くなり營養が惡くあつて病氣に罹り易くある、ソレで室内の空氣の惡くなるのは、或は空氣中に御座いまする酸素の分量も減じ炭酸の分量が增して參りまする。其外濕氣も增して參りまするが、併しソレ等の物質が增加致し、或は減じて參ります前に、既に空氣は不潔或は腐敗すると云ふに至ります、多人數集まり戶を閉めたる部屋に行けば一種の臭氣が有ります。其臭氣を持つて居る空氣であれば必ず炭酸の分量が增加せり。空氣中に含有して居ります炭酸の分量は、外氣であれば千分中に〇、三で有りますが、室内に多數の人あれば其空氣の炭酸は千分の一になり二になり或は千分の三にあることもあります。ソレは人が皆多量の炭酸を呼出するか故で有ります而して炭酸を呼出するのは極て容易く見ることが出來ます、石灰水に其呼出氣の吹込んで見ると透明なる石灰水は直ちに白色に濁つてまいります。即ち炭酸と石灰と化合して炭酸石灰と云ふものが出來ます。此所に石灰水がありますから私の呼出氣を吹込んで御覽に入れまするに直ちに如是白色に混濁致します、(此時講師實驗して其例を示さる)斯の如く炭酸がありまするを石灰水が濁つて參ります。最初の石灰水だけなれば透明でありますけれども、僅か呼出氣を吹込んだ爲めに斯樣に混濁致したので有ります。即ち炭酸石灰が出來たのであります。

空氣が不潔になつて參りますと深い呼吸をすることが出來なくあり一室に閉籠つて居りまして、深い呼吸をしませぬ時は、肺は追々弱くあり肺勞抔にも罹り易くなりまする。ソレから炭酸の外にまだ有害の瓦斯——蒸氣躰のものを排出致します。其物は如何

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あるものであるかと云ふことは分りませぬで有りますが、餘程の毒なものであつて、

其毒なものを炭酸の外に吐出します。其事柄は動物を硝子壜の中に例へば鼠なり兎なり入れて置いて、空氣が通はぬやうにしますれば中で炭酸を呼出し其炭酸を石灰水を以て除きサウして動物が用ひます所の酸素を別に入れてやつても、動物は長く其中に生活して居ることは出來ませぬであります。或は又人の息を冷しまして、露となし（恰も冷たる鏡に息を掛け露が出來るが如く其露を動物に注入せば其露の中に毒分が含んで居ッて其毒分の爲めに倒れます。空氣中に炭酸が增加いたす正比例に其毒物も殖えて來ますから空氣中の炭酸を極めますと空氣が不潔であるか淸潔であるかと云ふことを知ることが出來ます。今日此方に持參いたしましたのは極く簡單な機械で御座いまして、此機械に依つて炭酸の分量を容易く極めることが出來ます。此所に壜があつて、此壜ハ五十立方サンチメートルの內容が有ります。而して其壜の栓には二個の孔あり共に硝子管を有し其一管には護謨管と護謨の球あり、最初其壜に石灰水を入るも此壜に附着あり黑色なる十字形が上から見ても能く分りますが度々空氣を入れて見ますると、先に御目に懸けたやうに、空氣が中に這入るに從つて水が混濁して、其印が分らぬやうにあります。此護謨球を押すと外から空氣が這入るやうに仕掛けてありソレで炭酸の分量は空氣千分中にどの位あるかと云ふことを極めまするので御座います。又室內の空氣は外氣と比較致しますれば塵が多い、即ち塵埃が多い、其塵の多いのは通常見えませぬが、朝早く旭日が室內に這入る時に御覽になると直ぐ分る、非常に多數の塵が飛散して居るのを見ることが出來ます、是れは光線の屈曲の工合に依つて見へまするの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

室内の空氣に付て

で有ります、其塵の中には多數に生活して居るバクテリヤと云ふものが居ります。其バクテリヤの中には病毒がありまして、近頃になつて肺勞患者の居る室内の塵を撿査し、其塵の中に肺勞の病毒が確かに有つたと云ふことも分つて參りました故に病毒がありますれば尙更新鮮の空氣を多量に室内に入れて、其病毒の室内に無きやうに掃除をして出して仕舞はなければなりません此外疱瘡、痲疹抔に罹つて居る患者が居る部屋の空氣中には、矢張ソレらの病毒がある故に、其病毒に他の人が染らぬやうにするには成たけ新鮮の空氣を多量に室内に入れて、其病毒を薄めて、外の方に出す方法を採らざるべからずとす又室内の空氣は燈火ランプ等の爲めに隨分不潔になるものであります。或は又室内に火鉢を置きますと炭酸の分量が次第に殖え從て室内の空氣も惡るくなつて參ります。蠟燭抔も此一つで有ります。併し電氣燈だけは室内の空氣を不潔にするとはありません其外職業に因つては製造場抔の空氣には隨分有害の瓦斯を混じて參ります。其次は室内の空氣は煮焚をする爲めに隨分水蒸氣が多量にあり、又炭酸抔が増加して來る。其他多人數集れば煙草を喫み其煙りでも餘程空氣が不潔になります。故に室内の空氣は成たけ室外の空氣を入れて薄くしなければなりません。又室内の惡しき空氣は外に出して仕舞はなければならない。ソレを空氣の交換空氣の換り合ひと申します。ソレで室内に長く居るには必ず空氣が交換しなければ健康に害が御座います。室内に於ては彼の有害の瓦斯蒸氣躰の物のみでなく、或は人が多人數集ると水蒸氣も拵え、或は室外の空氣の温度が高くなつて參り、其温度も外氣に與へて仕舞はなければならぬ、其外又室内で用ひます酸素が減じますとソレも外氣に依つて補はなければならない。又塵埃

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に致しても病毒に致しても成たけ自然の空氣を入れて內の空氣を外に出して仕舞はければ傳染する恐れが有ります。空氣を室內に入れますれは夏ならば、自然に窓を明け、障子を明けて風を入れますが、冬になると或は戶を閉め障子を閉めて中には火鉢抔を置きますと、忽ち其空氣は不潔になつて參ります。依つて其空氣を入れますにも種々ある方法がありますが、今日は右御話し申上た通り、此室內の空氣は隨分人が住居ふ爲めに不潔になり、其一部分は室壁より交換し、或は木材等を通過し、自然に交換は致しまするが、其自然の交換では不充分のものであるから、決してソレのみに任せずして新鮮の空氣を成たけ室內に入れないでは健康を保護する上に於て害があると云ふことを一寸御話ししましたのは有ります。尙は又空氣をどう云ふ工合にして入れるが宜しいかと云ふことは、他日又れ話しを致サウと思ひます、今日ハ此迄に致します。

寄書

◉婦人須知（前號の續き）

醫學士　賀古鶴所君

乳母の撰び方

生母自ら嬰兒を乳養し能はさる者は分娩前二三週間に於て豫め乳母の用意をなし醫師に請ふて精細に其體質並に傳染病若くは遺傳病の嬰兒に傳移ることのなきやを撿し同時に乳母の生兒をも診察せしむへし乳母の生兒は能く肥滿し身に癬瘡を帶ひす鼻孔閉塞さす强壯なるを要す但し乳母は己の生兒を併せて養育するを許さず乳母を雇ふには先つ其經歷を正し曾て勤仕せる家等に就き同人の行狀と健康を探知すへし乳母の分娩時日は自家と大差なきを可とす自

寄書

家の分娩せる時日より四乃至八週間以前若くは四週間以後を越ゆ可らず而して既に一両回小兒を養育せるとある婦人を最も適當なりとす若し同し資格の婦人數名あらは自家よりは三四週間前に分娩し現今乳汁に富める者を撰ふへし何となれは分娩後三四週間に至りて往々乳汁に減少を來すものあり然るに既に三四週を過ぎて尚乳汁に富める婦人あらば最早此憂なく且又分娩後時日を經さる者に比すれは產後の餘病並に乳房の創傷等を帶ふると少けれはなり

乳房の善良なる者は年齡二十歲以上三十五歲以下にして體格健壯に容貌醜くからず且つ喜色を帶ひて以て强康を表し頰部固く締りて弛緩ならず唇に創傷なく齒齦鮮紅にして呼氣臭を帶ひさるを要す齒齦稍蒼白にして出血し易く而して臭氣を放つ者は貧血症にして多病なるの徵あり乳房固く締り恰も碗を伏せたるか如く乳頭短くしてしかも大からず小兒の哺乳せし後ちと雖も乳房を壓すれは乳汁線をなして射出し哺乳後二時間を過れは再ひ充實するを可とす乳母に適せざる者は鼻梁低く頭髮薄く聲音嗄嘶し頸部及鼠谿部に腺腫を生し身體に癬疥を帶ひ流產數回に及ひ咳嗽頻發し肺病の血緣あり慳貪にして鬪爭を好む等あり而して體格矮小にして貧血なる者肢體不具にして缺損あり又血班ある者皮膚に癬疥を帶ふる者癲狂癲癇舞踏病癩病肺勞腺病ヒステリー梅毒等の素因ある者及大酒を好み强暴なる者は最とも忌避へき者たり萬止むを得さるときは以上最とも忌避へき者の他一二欠點はあるも乳房健全にして乳汁に富めは採用するも可なり即ち小兒の哺乳後二時間を過き吸乳器を用ひて両房より乳房を吸ひ取るに五十乃至六十カラム我十二匁乃至十五匁を得へく而して其質稀薄にして純白若くは青白甘味にして臭氣を帶ひす靜置すれは凝結して小塊を成すべく牛乳の如く膠樣の

大塊をなさゝるを良とす若し又都市の者と村落の者を撰はゝ都市の者を採用すへし何となれは村婦に於ては食物より起居動作に至る迄悉く一變し且つ郷里を懐ひ生兒を戀ふるの至切なるより頓に乳量を減し乳質を變ずるとあり

乳母に要する注意

生母たる者は常に注意して乳母の行狀並に營養を監視し健康の如何を察し殊に睡眠食物の消化呼吸下腹病の如何に注目し常に温言を以て之に接し勉めて安堵せしむへし食物は家族と均しき善良なる者を與ふへしと雖も村婦に在ては始より肉類を多く與へす漸次增加し俄に食物を變せさるを良とす且つ適宜の運動を怠らさらしむへし

嬰兒は乳母と同寢せしめす夜間哺乳のときと雖も乳母の寢所に入れしむ可らず而して嬰兒は三時間毎に十五分乃至三十五分間つゝ乳房に接せしむへし但し乳房は毎回充實しあるを要す若し六七時間を經て尙は充實せさる者は乳汁啻に不足なるのみならす其性質も亦た不良なり宜しく食物を增加し麥酒葡萄酒等を與へて試むへし

乳母の營養

乳母の營養如何を確知せんと欲せは小兒の體重を撿するに若かす即ち哺乳十四日にして體重に增減を見す若しくは減却するときは乳母の滋養粗惡なるが若くは消化不良なるなり速に治を受くへし而して乳汁豊潤なる者に於ては小兒靜に口を乳頭に接し哺乳の際乳汁溢れて口角より漏出し哺乳半時間にして既に飽滿し乳房を離るへし但し乳汁豊潤に過き常に乳頭より漏泄する者は時々吸乳器を用いて之を漏すへし

哺乳時間

哺乳時間は規律あるを可とす吾人は畢竟慣習動物の

外ならさるを以て出生の當日より之を習はしむるを良とす但し哺乳に規律あるは一ハ以て嬰兒が後來受くへき慣習性の好標本なるへし即ち夜間五時間は停止し初二週間は毎二時間に爾後ハ毎三時間に哺乳せしむへし

産婦手當

一　産婦一睡の後ち爽快の狀を呈するや若くは憂の態を現する哉
二　両便通利するや否
三　脉搏緩舒若くは急速なる哉
四　體溫攝氏三十八度以上に登れる哉否
五　惡露の性狀は如何
六　陰部膨脹せる哉否
七　下腹部の知覺過敏なる哉否
八　皮膚濕熱せるや若は乾燥せるや又發疹せる哉否
九　惡寒頭痛眩暈耳鳴衰弱妄語胸塞
十　乳房充實して緊張せる哉否
十一　乳頭健全なる哉否
十二　嬰兒靜に睡眠し両便を通し哺乳する哉否
十三　眼球臍帶に違常なき哉否

以上の諸點を觀察せる後ち空氣の通暢を整へ室內並臥褥を清潔になし而して後ち手指及器械を極めて清淨に洗滌すへし

（以下次號）

◉浴場行日誌　（前號の續）

醫學博士　佐々木政吉君

「クウルハウ」を出て左折して橋を渡りて對岡「ドライクロイワ」に至る全市を眺望し北は山脈遠くプラク走りゲーエル東南に流れテーブル北流し沃野の中央を過ぎりて黑龍の煙を吐きて往來するあり頗る愛觀すべし小憩岡を下りて少許右折して鑛泉浴場に詣る目下修

理に際し見るべきものなし鐵泉は礦泉に兼るに塩味を以てす近年の發見に罹る是より「カル丶ス」浴場の第一等の散歩場たるパノラマ街道を徑一小岳を下り再びスプルーテル　コロナーテ　の中を過ぎ二時歸宿して晝餐す

午後四時アルフレドを從へザウエルフルンニンに至る「ホテル」を去ること畧二十分なり之を飲むに炭酸味を帶ふること多く味佳良なり岡上岡下より瓶を携へて老幼男女の此泉を汲取せんとするもの來往陸續として絶へす小憩更に岡を登ること二三十歩岡下を觀望するにテーブル混々として前に流れカル丶ス橋前に横はり左方ホストホウフ山の森林を望む世に所謂る「ボヘミヤ」山林と稱するが如く景色幽邃閑雅なり之に加ふるに縱横に散歩逍遙の道を附したれば療客の神身を養ふ事大なるべし時正に五時半なり即ち「ホテル」に歸る路すがらプツプ氏の「ホテル」及新築中なる珈琲店を見るテーブル河の兩岸に聳立する巨厦なり聞く氏は浴地屈指の冨者にして所有の「ホテル」は其第一位を占むと云ふ

カル丶ス浴場には古來より流疫の襲ふこと無しと察するに天形の地勢は此靈浴を護るに由るならんか

去歳外人の此浴場に來りしもの三萬五千人なりと（但し通過の人を加へず）

目下カル丶ス浴市の家屋の數九百以上に及へり

外人を容る丶貧病院一あり四十人を容る内二十二人は全く施療し十八人は四週間に十二、五〇「グルテン」を拂ふ猶太病院あり三十六人を容る皆全施療なり

療客の娯樂に於ては欠くる所なし演劇、舞踏、玉突「ケーグルバーン」、「ローテンス」讀書室、博物館、圖書館等皆之を備ふ然れ共當特に與あるは左の遊技なり

驢馬に乗ると、魚を釣ると、游泳すると、
八日以上此地に滯留するものは左の分級に從て「クールタキセ」を拂ふへし

第一級　一〇「グルテン」
富者　貴族　僧侶　官吏　士官　地主　銀行者　製造所長　商人又は相當の位を有する者此部に屬す

第二級　六「グルテン」中等以上の人に課す

第三級　四「グルテン」

第四級　一「グルテン」
十四才未滿の小兒及家僕從者等は總て此部に屬す

「カルヽス」浴は泉の數に富み何れも種々の溫度を有し藥水として用ゆるに便わり蓋し冷泉を飲むときは腸の蠕動機を催進するも溫かなるときは其働緩和なればなり

「カルヽス」泉の効は已に前諸所に記したれとも重複を厭はす左に一括す

第一　胃の疾患（以下細密を畧す）
第二　腸の疾患　第三　脾の疾患
第四　肝の疾患　第五　腎及膀胱疾患
第六　攝護腺病（慢性充血）第七　婦人生殖器病
第八　新陳代謝の疾患（痛風、肥滿、密尿病）

其禁忌とする所の疾は肺結核、梅毒、腦病、皮膚の「ガングレン」煩悶胸窄等なり

「カルヽスバット」の成立

「カルヽス」浴場は十四世紀に於て「カルヽ」第四世を以て其成立を創追求したる鹿の口碑は人口に膾炙す然れとも十二世紀に於て已に世人の知る所とありたるは事實なり要するにカルヽ帝に至り始めて世人に著しく知れたるを以て「カルヽス」泉の鼻祖と稱すへきなり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「カルヽス」泉の療治の沿革を分て三紀となす第一紀は一千五百二十年に至る迄を云ひ當時は只「スプルーデル」泉をのみ用ひ主とする所浴治のみありき第二紀は一千五百二十二年より一千七百六十六年を包括す此紀に於ては飲療漸次盛となれり（勿論浴治も存したるあり）此紀の終りに至りては浴療は殆んと停止の姿にして飲療を主とし而も多量に用ゐたりき前世紀の終りより第三紀となす此紀に於ては先つ飲泉の量を定め徒らに多量に用ふるを制限し浴療も再興するに至れり一千七百八十九年浴醫ドクトルベッヒエル氏始めて理化學的の分析を施せり其後陸續分折するものありしか其最も新しくして確實なるは一千八百七十九年教授ルドウヰヒ氏の分析表にして之をベッヒエル氏分析表と比照するに大なる差異なきを見れば「カルヽス」泉は前世紀來定性定量の成分を變せず且温度にも變なきを證するに足れり

「カルヽス」浴場は多くの療養に富むの材料あり

第一　數世紀以來世人の巳知して今は世界に有名となれる礦泉の飲用

第二　之の礦泉より生ずる有名なる「カルヽス」塩

第三　礦泉の浴治

第四　散歩逍遙の場所の摸範たるべき樹脂香を帶ぶる森林の空氣

「カルヽス」浴場も大畧通觀したり今夜「マリエンバット」に赴かんと欲す午後六時半晩餐し七時半馬車を驅て「ホテル」を發すベルハルド氏余を送て共に停車場に詣る我厚く氏が懇篤なる嚮導を謝し八時五分「カルヽス、バット」發の滊車に乘じ途中エーゲル停車場にて他車に移り「マリエンバット」に着したるは午後十時半なりき是より先き氏電報を以て余の來ることを告けしに由り停車場前我を待つの馬車あり則ち之に乘じて「ホテル」「エングリッシエル」「ホウフ」に至

る蓋しベ氏の紹介に依れり一碗の茶を喫夜已に深し即ち寢に就く

(以下次號)

衛生叢談

●鰻の骨と肺病

長洲邊にて傘を造る職工は其骨に虫の付くをきらい鰻の骨を燒きて其煙にいぶすに奇れいに虫を去ると云い又或人の飼へるうづらに虫の付きしをはらはんとて此事を思い出し鰻の骨を燒きていぶしたるに其虫は皆死せりと云ふ又或人は庭内のばらに虫の付きし時同じく其法を試みたるに此又此虫は悉く溶け死したり又或る養蠶に下手な人あり蠶を飼ひ居る時鰻を燒きて其煙りの家の内に滿ちたりしが是がために蠶は皆死したるを以て大に驚きたるともありしと云ふ又或婦人は久しく肺病を煩ひしに迚も助からぬ者ならばとて兼て肺病はバクテリヤと云一種の虫の働きにて鰻で虫を殺すに奇功ありと聞けるまゝ試みに之を燒きて其煙を嗅ぎしに自ら何んとなく心地能きを覺えるのみならず醫者も容体を見るに不思議にも余程心地能くなりたれば定めて藥功ならんと思ひしに其話を聞きて驚きたる事ありしと云ふ又或醫師は普く東京市中の鰻屋に就て家内に肺 病患 者の有る無しを撿べしに一人も見當らずと云ふされば鰻の骨を燒きて煙を嗅くとは肺病に功あるべしとの事なり元より我國には昔より漢醫の用ゆるとありしと云り元漢方醫の用ゐしは鰻を黑燒にして呑むの違ひなりしといふ此頃府下の刀圭社會にても目下鰻に就て研究中なりといふ

又東京市本所區小泉町の中田三吉氏よりは中央新聞社に左の書狀を送りしといふ今其あらましを記せば貴社新聞記事中鰻と肺病と題する件を一讀いたし此

頃余の友人肺病にて非常に困難し居たる際早速こゝろみに日々數回行ひたるに次第に快よくなり兩三日前より最早平常に復したり實に其功績の著大なること驚くに余まり依て一書を呈し聊か衆人に告げ且つ貴社に篤く謝禮を述ぶ云々

又大坂の朝日新聞に左の一項あり

府下泉郡伯太村の鈴木なを女と云ふは此春頃より肺病にかゝり終に肺結核となり一晝夜に白痰五六合も吐き發熱つよく飮食ともに進まず追々衰へて今は骨と皮ばかりになり朝夕たゞ死をまつの外他事なかりし折柄吾社新聞に鰻の骨を燒き其香ひをかぐことが肺病に効ある由を記載したるを見て早速一ど間を閉め切りて鰻の骨を燒き薰らし鼻口より吸ふこと數回に及びけるがおい〳〵氣分引き立ち次第に痰咳熱氣ともに減じ隨つて藥の効めも著るしく顯はれ食慾も大に增し此有樣にては遠からず快ろよく癒ゆるに至らんと樂みつゝあり右は同患者の心得ともなるへければ餘白に記載し呉れよと當人より申越せり云々かく何れも肺病患者に効驗あるや否やを知らざれども取り敢へず茲に掲げぬ

◉喫煙學生と非喫學生の身体

北米エール大學校の附屬醫兼体操教師スチーバー氏は八年此方煙草の果して身体に害のあるものか害なきものかを調らべんと欲し煙草を常に飮み居る學生と飮まざる學生との身体を撿査し其身体の發達する割合を研究したるが煙草を飮む學生は飮まざる學生より其發達惡しきを見るへし

	煙草を呑む學生の身体の發達	煙草を飮まざる學生身体の發達
胸	○、○三○四	○、○三六四
肺	○、一五	○、二五
重量	○、四	○、五

身の丈　〇、〇一六九　〇、〇二〇二

スチーパー氏曰く余が八年此方の調べによれば身体の各部に於て發達のよきものは煙草を飲まざるものに多くして煙草を呑むものには甚だ少し然れども其喫烟すること一周間に一回を越へさる位なれば其害も極めて少なく或は害なしと云ふ程なれども併去身体の運動極めて走輕き体操學生は烟草を飲むもの少なくして飲まざる人に多きを見れば之より先き身を海陸軍の軍人にでもなろうとする學生は殊に烟草を飲むことを禁ずるを好しとす云々

◉虎列刺病毒に關する大發明

目下獨逸國留學中の坪井次郎氏には全國ミスンヘン大學に於て教授ウヱンメルヒ氏と共に久しく研究をなし一大發明をなしたり是迄虎列刺病の原因はコンマバチルスと云ふ事は定まりたる説なりしが其バチルスが如何なる譯で斯る病ひを引き起すやと云ふに至りては未だ判然せざりしが氏は遂に虎列刺病のかゝる症狀を呈せる原因はバチルスの糞の中に含み居る亞硝酸と云ふ物の毒に當りて吐き下しをなす所以なりといふ此一大發見に就ては其筋へ詳しき報告書も來り又外國の醫事雜誌にも悉しく之を掲載しありとのことなるが先きには北里博士あり又坪井氏の發明あり日本も亦名譽の國ならずや

◉バクテリヤの導体

日耳曼のプロフエッソル、ウワフエルマン氏は手紙にバクテリヤを附けて之を郵便袋に入れ二十三時間半殆んど一晝夜たちて之を取り出し見しに手紙に附きしバクテリヤは尚いき〳〵として躍り居たり郵便端書に植へ見たるに同樣なりしと又之を金銀銅貨等に附け置きしに之れは余程短命なりしが之に反して毛織物リンチン等には余程永く生活せり凡そ此バクテリヤを導くことの甚しきは蠅なるが此蠅に先づバ

クテリヤを植へて之を牛肉にとまらせ程たちて其肉を調らべ見しに果して牛肉には驚くべき程の虫がゴチャ〳〵と殖へ居りて見るもゾッとする程なりしと亦嘗て或人間の指先きにバクテリヤをつけ其乾くまで七八分の間指をのばし居て一時間の後其指をもつて炙りたる牛肉をこすりたるに牛肉には莫大もなき虫生長せり但一時五十分を經て指先を改め見しに生けるバクテリヤは更に見へざりしとウッフエルマン氏の曰くツマリ虎列剌流行の時節に於ける最上の衛生法は清潔なりと

◉人命の長短

某統計家はいへり平生養生をよくする人にして年齢二十才に達したるものは四十四才まで生き猶六十六才迄生き延びたるものは更に十四年間生くべしと之に反して平生不養生家にして年齢二十才に達したるものは只三十五才の命を保つべく若し幸にして六十才まで生きたりしても其後は八年間よりは生きず又酒を飲む人の命をちゞめることは今更らの事にあらすして今其暴飲のために人々の死亡する割合を言へば麥酒は千人毎に四十六人他の飲料は平均千人毎に六十人を殺すの割合ありといふ

◉長命なる老媼

近頃の世には珍らしき長命なる人もあるものかな去りとて別段之れと云ふ攝生法もなき樣なれど玆に駿河國庵原郡富士川村農望月某の母まさは寛政四年三月十一日に生れ本年百二歳の長壽を保ち余程壯健なりと此程同地の人々ハ此老媼をして安く生涯を送らしめんと斡旋中なりとのことなるが其經歴の大畧は左の如しと

平常には麥飯と野菜を食物となし年寄りては一食一椀半一日大凡四回烟草を飲むを樂みとし酒を好まず平素度に過ぎたる勞働をなさず湯に這入るこ

とは凡そ十日に一回位十九才の時嫁入をなし二十才にして分娩す四十三の頃までに男女六人を擧げ夫は八十六才にして死亡す身体は至て健康にして是迄に藥を飮みたることと灸治などせしことなしと四十年前飼馬の狂ひ走るに突き當り其時左の眼を失へり父は九十六歳母は八十六才を以て終る今日にても眼の力强よく眼鏡などを用ゐず自ら針の目を通しよく裁縫をなす耳の力は昨年より稍乏しく歯は全く脱けたるも現に家族の農事を助くといふ

◉接吻の危險

我國にては未だ接吻の禮行はれざればかゝる愛ひなきはまことに賀すべきことながら爰にいと面白き話あり米國ニユーヨーク洲ジエムスタウンに住へるアイケンと云へる美婦人ありけるが去る八月廿日の事かとよカントーンのアムステルと云へる人と目出度婚禮の式を擧げたりしが其頃同婦人ハ咽喉に少しく痛みを感じ居りしも新婚のうれしさに打ちまぎれ氣にも止めず此婚禮を祝はんとて來る人々と矢鱈に接吻したりしが翌日に至り眞性のヂフテリヤに罹り千代も八千代も變らぬとまで契りしこともなさけなや生死のほども覺束なき容体となりしがこれは却て置きこゝに又前日同婦人と接吻したる二十餘名の男女はことごとくヂフテリヤにかゝり是又九死一生の中にありといへるが之を見ても傳染の烈しくして從來日本人の小兒を愛するの余り接吻するが如きは實に危險なることとなり歐米人にして此弊害あるは我國婦人のれ羽黒附くるより其害甚だしと云ふべし玆に於てや一得一失！

◉一生涯の消費

或る統計家は人生五十年を一期として一万八千二百五十日間に起る總てのことを算用せしに六千五百日

は働きて六千日は眠りについやし四千日は快樂についやし五百日は疾ひに惱めりといふ又一万二千マイルを歩み獸肉一万六千ポンド魚肉鷄卵野菜千四ポンド流動体のもの七千ガロンを飲むと云ふ是れ丈け飲み食ひしたならば隨分重きことなるらんされば德川家康は言へり人の一生は重荷を負ふて遠き路を行くがごとしと宜べなるかな呵々

◎宮崎縣と山梨縣のヂストマ

宮崎縣本吉郡鹿崎村の中字黄牛と唱ふる百戸内外の小村には三十年この方一種の奇病流行するよしなるが右は世に云ふブラ〳〵病のごとき者なるよし此所の村民は皆五十歳になるやならぬに死に果てゝ六十歳の壽命を保つものなしとのことなり右は心臟にヂストマと稱ふる一種の虫の寄生するによると又此頃山梨縣には肺病ヂストマと云ふ病氣流行し山梨病院及び日川病院へ入院せるものゝみにても目下十九人の病人なれ共此ヂストマ病に就ては未だ其適當なる治療法を發見するに至らず專ら研究中なりといへるが此虫は人のからだに宿る虫の中にて恐るべきものにして昔しは醫學上之を二口虫と云ひ來り形豆の大さにして少しく卵形をなせり

此歷史は西曆千八百七十九年我明治十二年六月西醫リンゲリー氏が臺灣に於て大動脈の病ひにかゝりて死去したるポルトガル人を解剖せしに始めて之を發見せるものにして之をコホッボルド氏に送りたるに氏其肺臟に寄生したる一種のヂストマなることを知れり此虫は人のからだを住とするものなれども其人のからだに入る前何れより生じたるものなるかは未だ明らかならずして醫家の治療に苦むところにして學者の又知らんことを欲して止まざるなりされども其卵の肺臟よりからだの外に出でたる後は必ず水によりいろ〳〵に變化し遂に川或は池水に棲むところ

の魚類又は軟体動物（たにし、しゞみ、かまざら其他）又は食用の野菜に附着して人のからだに入るの塲合を待ち居るが如し而して其患者の咳痰の如きは一寸と見ると肺病患者に類するところあるを以て両者をあやまること少しとせず尤も顕微鏡にて調ふれば直ちに其違ひを見出すとは言へども細密に檢査せざれば知ることを得ずといふ前にも言へる如く此虫は淡水中に成長する川魚田螺の類によりて体中に入るものなれば此等をよく煮ることをおくして所謂生煮を食し或は惡しき水を猥りに飲む時は其害を免れさるに至るべし且此虫のふへることは實におびたゞしく一個の虫にして男女両性をそなへ三万以上の卵をかへす力ありて肝臟にも發生することあり是迄の經驗によれば農業を爲すものに多く血氣壯んの時に多く此病を起して強健者もブラ／＼病となりて空しく夭折するに至るといふサレ共不思議なるは酒ずきの人には少くして下戸に多しといふ此チストマ病發生の地方は岡山、陸前、熊本、長崎、伊豆、岐阜、信濃及び鹿兒嶋、山口、山梨等あり、

◉印度の發狂者

印度地方にては發狂者頗る多きよしなるが今其原因に關する孟買管内にある瘋狂院の報告を見るに重もなる原因は烟草の害によるものにして院内十二人のキチガイは皆これより發し次は火酒の飲み過ぎと癲癇病にして各々三人次は憂欝熱病及遺傳にして各々二人其他は宗　教に無衷になッたとか又はヤキモチガ増長したとか又は心配により又は身代限等に原因すといふ

普通の瘋癲院に於ては烟草の害より發狂したるもの七百九人の中七十三人にして昨年中入院したる二百九十人の中三十七人は其原因は一にして其他は火酒飲用より三十五人喫烟より三十人なり鴉片は消費高

割合に多きも發狂の原因となること少なしといふ

◉愛蘭土の狂人

發狂人の話につゞきて英國アイランドの狂人を記載せんに同地にては狂人年毎に增加し千八百五十一年には五千九百八十人同六十一年には一万四千〇九十八人、同七十一年には一万六千五百〇五人同八十一年には一万八千四百十三人、同九十一年には二万千八十八人昨九十二年には遂に三万六百廿八人に增加したりといふ故に世界第一の狂人國とも云ふべきか諸外國に比して二倍或は三倍ありといふ是等の狂人は重に土地問題に對する政治熱より原因する者あればかく年を逐ふて增加するものなりとラッセル氏の統計は言へり

◉九十餘名の中毒

去月廿五日信州松本町にて深志橋の棟上式をなしたる時同町の料理店某に於て宴會を催せしが其料理を食せしため其日廿時間程の内に劇しき腹痛を起し劇性の胃腸炎の症狀を發せしもの七十七歲の老人をはじめ九十六人中にも老人などは爲めに死亡したる者ありしと其原因ハ右調理に用ひたるアカヾネ鍋に「シロミ」を塗りたるものと塗らざるものとありしと又柚の皮と共に銅錢を煮詰めたるよりして全く銅の中毒を來せしなりといふ

◉絕食者

前號の本雜誌にも斷食の事を揭載せしが是又中々に永し米國フキラデルフィヤ府のアントンピーセチック(四十七年)と稱するはオースタラリヤの人なるが如何なる心にや七十五日前より絕食を思ひ立ち今日に至るまで一口も飲み且食はず而して人と談話せず只人に遇へばグードモーニング……………グウ………………と顏をしかめ居るといふ同人の絕食前と今日の体重をくらぶれは殆んど体重の四分三を減せり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とひふ人間はかくも永く生きるものかな、

●奇兒

大坂江戸堀北通の或職人の妻が去月九日產み落したる子は世にも珍らしき奇形兒にして一人の赤兒の胸のあたりに別に首がわり又手もわりて抱き合ふて居るごとくにて臍より下は一体にて足は三本あり其内一本は太く甲の處より二つにあり指は九本あるよし西洋の醫書には連帶兒と云ふものあれども我國にては實に珍しとのことあり

今一つは双兒にて靜岡縣長上郡美島村の木下某の妻が去月十七日俄に虫氣づきたりとのことにて亭主は空釜を焚くやら盥を持ち運ぶやら何にやらかやら氣は轉倒して產婆と共に介抱如才なかりしがやがて產聲高く產れしは双兒なるより亭主はうれしさか但しは驚いたのか我か兒を見るや否やウンとばかりに產婦の前に氣絶したるにより家内中上を下への大騷動ソレ亭主ドンガ目を廻はさしや……ッタ裏へ行つて古ワランジを持つて來い何に流し元から手桶を提げて來て水ウかけろ御亭主ヤアイ――御亭主イノーと一同がワイ〱さわいだので更ぬだに產婦は血の落ち付かぬに此さわぎに血が上り見る〱目を白して是又ウントバかりに仰け反ッたりヤアー〱大變〱〱〱大變の二の舞ひだ產婆じやいけぬ醫者樣をよんでこひ何ニオレガ行く余レが行くスッタモンだのさわぎ亭主は漸く息吹き返して又ビックリ今度は亭主も共も〱介抱したが哀れや妻は遂に歸へらぬ旅とありにけり之レを見ても出產の時は家内の人々すべて靜かになし產婦等には決して心配さすることなかれ、

●各地赤痢病の猖獗

患者七萬七千七十二名

赤痢病は九州の一部に始り夫れより東に及ぼして大

坂は今病毒の製造本場となり各地至る處殆んど赤痢病者あらざるならんとす近日は又神奈川縣にも及び今しも東京へ入り關東より東北を侵かさんとす今年の患者は九月廿七日までに七万七千七十二人の多きに至り內死亡したるもの一万五千八百余名豈大數ならすや有形の戰爭に於て此人數死亡せば人々の感情如何只無形の戰爭なれば人々の注意周匝ならさるなり彼の西南戰爭に於ける官軍の討死者の殆んど三倍に上るを知るへし（當時官軍の戰死者六千人）此の時に當り戒心以て赤痢軍をして東都に侵入せしむることなかれ數日來の雨天は赤痢をして猖獗ならしむるの徵候なれば今日の防衛こそ實に至大至難の時なり

赤痢流行地は大坂、愛媛、福岡、佐賀、和歌山、壹岐、廣島、德島、九洲、四國、兵庫、神戶、岐阜、京都、岡山、高知、熊本、大分、宮崎、長崎、山口等にして其他多少流行せざなきに至る今其大略の景況左の如し

◎よい醫者の迷惑　大坂にては赤痢病にかゝるもよい醫者にかゝると赤痢にされさるとて藪醫者をたのめば巡査はよい醫者を引ッ張り來りて其隱蔽をとがむよい醫者世話し、

又道頓堀邊にては赤痢のおまじないと唱へ金神さんの御水だの稻荷下げだと云ひて無病壯健の者を煩ひつかす効能はあるとも少しも藥にならぬ腐れ水を飲みて可惜命を棒にふる者多しと

◎津市の景況　三重縣津の警察署は此際非常に注意し先づ第一に未熟の菓物及其他飲み食ひ物に注意し辻便所其他不潔の場所を清潔にし又赤痢を申告せざる者等を調べ此際一應戶口調査を嚴にするといふ

◎赤痢賣　是れは又中々におかし、和歌山縣下赤痢病大に流行す街上柿を賣るものあり柿はヨウゴ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ザイ柿は……警吏之を叱りて曰く、コレ何んと申す柿は赤痢の原因なり汝等柿を賣るは恰かも赤痢を賣るに同じ……殘らず其柿を出せと悉く面前に於て其柿を叩き潰さしめたりと

◎壹岐の赤痢　一小彈丸の如き嶋國にして赤痢患者二百餘名を出す嶋民壹岐心なし

又同國にては此頃一策を案じ出し名村吏に命じ衛生組長の門前に投書函を設けしめ患者の隱蔽を報せしむと

◎赤痢病患者の變死　大坂赤痢病猖獗にして患者は其苦しみを逃れん爲め横死を遂くる者毎日のやうにありて最早同患者の變死は十五名なりしといふ

赤痢病の心得

第一　赤痢病發生したる時は成るべく其家と交通せざること

第二　患者ある家の井水は他家に於て共に使用せざること
但止むを得さるときはよく沸立てゝ後之を用うること

第三　煮立てざる水は一切飲むことを禁じ麥湯（茶又は沸湯）を用ゆること

第四　外出先にて猥りに飲食するを禁じ不潔の塲所及疑はしき患者に近寄らざること

第五　特に芥溜を掃除し患者の家より流れ出づる下水の溢れること及浸み込むことを防ぎ下水又は溝等の破損せるものは速に之を修復すること

第六　飲食物は成るへくよく煮て之を用ゐラムネ、氷水、菓物類、貝類、蟹・蝦、カマボコ類、一夜漬等の消化し難きもの及腐敗し易き者は食すへからす

第七　夜間は腹部を冷やさゝる樣に注意し窓は風向

きを鎖すべし

第八　便所及共同便所等には日々生石灰又は石灰乳を充分に撒き消毒すべし

第九　腹加減惡しき時は速かに醫治をなし若し赤痢なる時は決して之を隱すべからず

第十　外來人の厠に上りたる時は石灰乳を以て其後を消毒すべし

◉窒扶私

東京市内にはこの頃非常に窒扶私流行す御用心〳〵

諸會景況

大日本婦人衛生會總集會

去月十六日午後一時より麹町區富士見町富士見倶樂部に於て總集會を開しか　總裁小松若宮御息所殿下にも御臨場在らせられ席定まるや先づ半年度の會計及事務報告あり次にドクトル金杉英五郎君には實布垤里亞に就き統計表を示して其發生豫防法等を述べられ醫學士三浦謹之助君には一般療法に就き化學的理學的等の療法を述へられ右終つて茶菓の饗應ありて午後五時散會せしが當日の來會者は大凡四十餘名ありき

自明治廿六年三月至仝八月會計報告は左の如し

一收入高　三四九、〇七一

一支出高

		雜誌印刷	八六、一五〇	諸印刷	四、六三〇
會場費	二、〇〇〇	郵便	一七、六四二	切拔通信	三、六〇〇
端書	八、六六七	筆墨紙	四、五三〇	會費雜誌通知人手當	一七、九五〇
雜費	八、九一〇	器具	三、七四〇	慰勞金	八、四四〇
懇親會	七三、五五八	事務員手當	三〇、〇〇〇	速記料	一〇、〇〇〇
三井銀行預金	四〇、〇〇〇	前年度	九、九九九	合計	三三〇、八一六

收支差引殘額　一八、二五五　三井銀行預金利子共　一六七、一六六

合計高總額　一八五、四二一

一現在會員總數　六百五十八人

内　譯

修身會員　十八人

特別會員　三十四人

男子賛成員　五十七人

地方會員　百五十五人

千葉支會々員　三十一人

府下會員　四百〇三人

◎中央衛生會　同會去月廿七日内務省に於て會議を開き赤痢病豫防法及其他の事を審議せしといふ

◎大日本私立衛生會　去月三十日午後一時より厚生館に於て月次會を開き醫學博士北里柴三郎氏（恙虫病源に就て）長谷川泰氏（赤痢病に就て）大に論する所ありしと云ふ

◎慈恵醫院の慈善會　同會は本月廿三日頃より一週間同院内に美術展覧會を開き其入場券を以て施療資金に充るといふ右は朝野の紳士夫人令嬢等にて組織し各々優等の品を募集中なりといふ

東京市内小兒科醫の栞（前号の續）

醫學士吉松駒造君

住所日本橋區濱町一丁目一番地

同氏は目下同所に病院を建設し主として小兒の診察に従事せられ居るか診察時間は毎日午前回診は午後なる由

侍醫ドクトル加藤照麿君

住所麴町區五番町十四番地

同氏は宮内省の侍醫なるか公務の余暇には一般小兒の診療に従事せらるゝ由

醫科大學助手醫學士伊東祐彦君

住所本郷區駒込西片町五番地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同氏は目下小兒科病室に勤務中なれとも公務の余暇には又一般小兒の診察にも從事せらるゝ由

長田重雄君

住所淺草區馬道壹目丁廿五番地

同氏は宅診回診共毎日引受らるゝ由

沼野孝太郎君

住所神田區富山町九番地

同氏は小兒科專門にて特に種痘の熱心家あるが毎日宅診回診共に引受けらるゝ由

右の外小兒科を兼ねて開業せられ居る人は澤山ある可けれども專門にて小兒のみを診療せらるゝは先つ以上の諸氏なるべし

廣告

◎會長土方龜子の紹介により

赤坂區福吉町二番地 公爵夫人 一條良子

麹町區飯田町一丁目三番地 公爵夫人 近衛貞子

仝　區永田町二丁目一番地 侯爵夫人 鍋嶋榮子

本郷區元富士町二番地 侯爵夫人 前田朗子

芝區伊皿子町五十番地 伯爵夫人 伊藤梅子

◎地方會員安達芳子の紹介により

筑前國嘉麻郡鯰田炭坑 通常會員 大木珠子

◎會員田口つる子の紹介により

第二醫院 日下しづ子

仝 小林つる子

◎會員中川もと子の紹介により

第一醫院 杉田わか子

◎地方會員長岐喜代子の紹介により

秋田縣北秋田郡大巻銀山

通常會員　岡本登代子

◎會員村垣ゐを子の紹介により

第二醫院　中野しけ子

◎會員川勝ため子の紹介により

日本赤十字寺社病院　通常會員　梁瀨松子

◎地方會員井上もと子の紹介により

第一醫院　中村りん子

仝　清水うめ子

仝　船引みさ子

仝　掛田てう子

◎副會長濱尾作子の紹介により

本鄕駒込丸山新町十七番地　通常會員　飯島夫人

轉居

北海道小樽住ノ江町五番地へ　早川しま子

赤坂表二町目十三番地へ　大久保きみ子

本所區林町二丁目六十一番地へ　小谷ちせ子

駒場農科大學構內官舍へ　喜多山つせ子

芝西久保葺手町十七番地へ　佐伯ちか子

芝公園第十一号地八番へ　巖谷きみ子

神田小川町五十一番地へ　賀古鶴所君

本鄕弓町一丁目廿五番地へ　三間みわ子

神田北甲賀町十七番地へ　石井いせ子

麴町飯田町六町目十七番地へ　高橋清子

芝高輪へ　後藤ゆき子

麻布東町廿四番地へ　後藤新平君

神戸市中山手通四丁目九番屋敷ノ三へ　小野たけ子

同所へ　吉田志滿尾子

相洲三浦郡橫須賀町字白濱稻岡廿七番地へ　星野茂尾子

退會者

安藤とく子　河野きく子　上村らく子

◉各地赤痢病景況

本年一月より各國各縣に發生したる赤痢患者は九月廿七日まで總數七万六千九百三十八名内死亡者一万五千八百六名の多きに上りたり今廿年以後の統計を揭くれば左の如し

	患者	死亡
明治廿年	一六、一四九	四、二五七
仝 廿一年	二六、八一五	六、五七〇
仝 廿二年	二二、八七三	五、九七〇
仝 廿三年	四二、六三三	八、七〇六
仝 廿四年	四六、三五八	一一、二〇八
仝 廿五年	七〇、八四八	一六、八四四
仝 廿六年九月マテ	七六、九三八	一五、八〇六
大坂府	一五、八〇六	二、七三七
愛媛縣	九、八六二	二、一八七
熊本縣	八、八二〇	一、四九四
兵庫縣	六、三九六	一、一八六
大分縣	六、三四五	一、六四七
和歌山縣	六、一五五	一、二〇三
岡山縣 大倭村	一五〇	
佐賀縣	三、一九〇	七〇七
福岡縣	四、七三八	九〇四
宮崎縣	二、九六七	四八一
長崎縣	二、〇五〇	五〇八
山口縣	一、七三一	三七二
徳島縣	一、〇六三	二一一
高知縣去月廿六日新患者		五八

◉赤痢豫防規約

左に揭くるは某軍醫正か過日九州八代地方巡回の際同郡小浦村に於て村民と約し若し此の方法を遵守せば必ず病毒撲滅に至るべしと諭せしに爾來村民其の敎へを守り大に注意する所ありしより近日に至りて全く撲滅に至りたりと參考の爲め玆に揭ぐ

○各字互に交通をなすは苦しからざるも互に飮食せさると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日内務省許可

○横谷其他赤痢病ある町村に至らんとするものは撿疫官出張所等村役場及巡行の巡査へ申出其許可を受くると但飲料は煮沸水幷に弁當等を携帯し先方のものを飲食せさると

○各字共一旦煮沸したるものにあらざれば決して飲食せさると

○腹工合宜しからざるもの幷十年以下の者は一旦受物に脱糞せしめ糞便異状あるときは撿疫官出張所幷に役場又は巡行の巡査へ申出其者は一家の一隅に隔り離場を設け之に移すへき事、但炊事場に隔絶したる場所を良とす

○各字共食器幷に農具牛馬衣類は一定の洗滌場を設け必す之に於てすると

○各字共無病地に至るも生ま水生ま物を飲食せさると

○他の地方より歸り來る者幷に他の地方より歸り來る者幷に他の地方より當地に宿泊する者は撿疫官出張所幷村役場へ屆出置脱糞一週日間は一定の受器に受け置き係吏員の差圖を受くると

○乞食其他物貰は一切村内へ立入らしめすに直に村外へ追ひ立つると

○通行人に便所を貸すときは總て一定の受物に脱糞せしむると

○老人小供瘋癲白痴にして事理の弁へなきものは一定の場所に集めて管理しるか若くは農業地方等へ連行き保管すると

○毎日巡査村吏醫師は各戸を巡察し注意を嚴重にすると

○撿役官出張所に於ては日々施行したる事務の成蹟幷に流行地の實況を筆記し置くと

○牛馬を川邊に繋かさると

明治廿六年十月五日印刷
明治廿六年十月六日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　大日本私立婦人衛生會
編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中徳三郎
印刷者　仝　神田區小柳町十三番地　小高良造
印刷所　仝　神田旅籠町貳丁目拾一番地　廣業館

明治二十六年四月四日遞信省認可第一金曜日發行
（定價金十錢）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN